

## 1 目 的

市内中小企業の経営実態を把握し、第三次中小企業振興計画の策定における基礎資料とするため。  
また、幅広い事業者の声（課題等）を収集し、第三次計画の内容や今後の中小企業振興策に反映させるため。

## 2 調査対象

苫小牧市内の中小企業約2,000事業所

※対象者の抽出方法は、過去の調査を踏襲し、経済センサスデータを使用するか、調査会社の保有する企業情報を使用するか、検討が必要。

## 3 調査方法

調査票を郵送し、回答は郵送・Webどちらでも可とする。

[過去の調査との比較]

実施年	発送日	送付件数	返戻	回答数	回答率	設問数	備考
H26年度	H26.7.31	5,663	501	1,469	28.5%	14	<ul style="list-style-type: none"><li>商業振興課による自前調査</li><li>経済センサスの結果を元に調査票送付</li><li>50社電話による詳細ヒアリングあり</li></ul>
H28年度	H28.4.1	2,500	102	575	24.0%	23	<ul style="list-style-type: none"><li>商業振興課による自前調査</li><li>H26調査を元に大企業、支店、個人の不動産業、フランチャイズ等を除き本市の事業構成割合を考慮し、2,500社を無作為抽出</li></ul>
R8年度	R8.5 (予定)	2,000	100~ 150	500	25.0%	20~25	<ul style="list-style-type: none"><li>民間調査会社への業務委託により、対象事業所の抽出、調査票の印刷・封入封緘、発送、回収、集計を実施</li></ul>

# 中小企業実態調査について

## 4 主な調査項目

- 第二次計画の三本柱（創業と事業承継、人材確保・育成、経営基盤確保・販路拡大）に沿った質問構成とし、実態把握を行うとともに、第3次計画に反映すべき新たな課題やテーマを拾い上げるため、現在生じている新たな課題に関する設問を盛り込む。

主な質問項目 (案)	創業と事業承継	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 創業時の経営形態</li> <li>2. 創業の主な動機</li> <li>3. 創業時に最も苦労したこと</li> <li>4. 創業時に利用した・知っていた支援策</li> <li>5. 市に期待する創業支援策</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>6. 後継者の有無</li> <li>7. 事業承継に向けた取組状況</li> <li>8. 事業承継で活用したい支援</li> <li>9. 廃業について</li> <li>10. 事業承継の相談</li> </ol>
	人材確保・育成	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人手不足の状況</li> <li>2. 採用における課題</li> <li>3. 過去3年間の採用実績</li> <li>4. インターンシップ実施状況</li> <li>5. 人材育成計画の有無・実施状況</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>6. DXへの取組状況・デジタル人材の育成</li> <li>7. 外国人材の活用状況</li> <li>8. 離職の状況</li> <li>9. 市に期待する人材確保・育成支援策</li> </ol>
	経営基盤確保・販路拡大	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 直近3年間の営業利益の傾向</li> <li>2. 今後の経営方針</li> <li>3. 市内の取引割合</li> <li>4. 賃上げへの対応状況</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>5. コスト変動による価格転嫁について</li> <li>6. 販路拡大における課題</li> <li>7. 市に期待する経営支援策</li> </ol>

## 5 スケジュール

